

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年度予算案を修正へ 当初予算29年ぶり、与野党協議で

・政府提出の2025年度予算案は与野党協議による国会での修正が加えられる見通し。当初予算の修正は1996年度予算以来、29年ぶり。少数与党の石破茂政権は予算案を年度内に成立させるため、野党の修正要求を受け入れる。福岡厚生労働相が「高額療養費制度」の限度額の引き上げ案を変更すると表明したのを踏まえた対応。

◆就活セクハラ、3人に1人被害 法改正で企業に防止義務

・就活セクハラの防止対策が、2026年にも男女雇用機会均等法上の正式義務になる見込み。就職活動中の学生など求職者の3分の1が被害を経験。就活生と企業の間に雇用関係がないことからこれまでは労働法の保護対象から外れていたが、企業は面談のルール作りや相談窓口の設置が必要となる。

◆初任給引き上げ、企業の7割に 帝国データ調査

・帝国データバンクは2025年4月入社の新卒社員の初任給を引き上げる企業の比率が71%に達するとの調査結果を発表。引き上げ額の平均は9114円で、5割が1万円以上だった。物価高や人手不足を受け、若手の処遇を改善する動きが広がる。初任給が20万円以上の企業の比率は75.2%で、前年調査から10.4ポイント上昇。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆公共工事の労務単価6.0%上げ 国交省、13年連続で

・国土交通省は国や地方自治体が公共工事費の見積りに使う労務単価を3月から全国平均で6.0%引き上げると発表した。建設・土木業で人手不足などにより賃金上昇が続いている傾向を踏まえて設定した。上げ幅は2024年の5.9%を小幅に上回った。現在の算定方式となつて以降、13年連続の上昇となる。

◆1月の新築一戸建て、首都圏4カ月連続上昇 23区は5カ月ぶりの1億円台

・東京カンテイは主要都市における1月の新築一戸建て(土地面積100㎡以上300㎡以下)の供給動向を発表。首都圏(1都3県)の平均価格は、前月比2.2%増の4720万円と4カ月連続で上昇。東京都は3.3%増の5958万円と4カ月連続上昇。23区・都下ともに上昇が続き、前年同月比は7.7%増に拡大した。

◆外資の24年対中投資、3年で99%減 中国離れ止まらず

・中国国家外貨管理局が発表した2024年の国際収支によると、外資企業の直接投資はピーク時の21年と比べて99%減少した。経済減速やスパイ摘発への懸念で外資の中国離れが止まらない。24年の対中直接投資は45億ドル(約6800億円)の流入超過だった。33年ぶりの低水準となった。

《 注目商品 》

■三菱電機、2025年度の店舗・事務所用パッケージエアコン

・店舗・事務所用パッケージエアコン スリムZRシリーズ、スリムERシリーズ、ズバ暖スリムDHシリーズ、ズバ暖スリムHシリーズの新製品を5月12日より順次発売。自動運転「デュアルオートモード」を搭載。「冷やし過ぎ」「暖め過ぎ」を回避し、効率的な運転を実現。



■ハウステック、非日常を味わうバスルーム「雅月(みやびつき)」

・非日常を味わいながら、浴室空間としての快適さを損なわない完全受注生産モデルのシステムバスルーム。一般的な戸建住宅やリフォームにも取り入れやすいよう、1坪サイズを新たにラインアップ。木曽檜、樹脂コーティングした天然檜で、耐久性に優れた浴槽を採用。



■永大産業、便利さと心地良さを叶えるキッチン「ラフィーナネオ」

・洗練されたシンプルデザインと考え尽くされた収納アイテムが特徴のシステムキッチン「ラフィーナネオ」。リビングやダイニングもトータルな空間としてキッチンを考え、空間の魅力を高める表情豊かな素材や色彩、造形を厳選。美しいデザインと優れた機能性。

